

## 第5章 ビジョンの実現に向けて

本ビジョンが掲げる将来像を実現するためには、多くの人が古墳群の存在や価値を知り、守り、その価値を将来にわたって引き継いでいこうとする機運の盛り上がりが必要です。

そのためには、行政だけでなく、地域住民、民間事業者、NPO等がビジョンの将来像や方針を共有し、各々がそれぞれの役割を果たしながら、取り組みを進めていかなければなりません。

取り組みを行うにあたっては、各主体が「継続的」に、相互に「連携」や「ネットワーク化」を図り、「拡げて」いくことが重要です。また、「地域住民の参加」を促し、「来訪者との交流」という観点も欠かせません。

そうすることで、住んでいる人だけでなく、来訪者をはじめ、多くの人たちに愛される古墳群となり、「世界に誇る百舌鳥・古市古墳群とともに輝くまち」が実現すると考えます。

### 取り組みの基本となる考え方

#### ○「継続」「拡大」

古墳群を守り、次世代に引き継いでいくとともに、古墳群をとりまく地域の活性化やまちづくりを将来にわたって進めていくためには、各主体が、一過性ではなく、継続した取り組みを進め、取り組みの輪を「拡大」していくことが重要です。

#### ○「連携」「ネットワーク化」

古墳群を活かした新たなにぎわいが創出され、さらなる相乗的な効果が発揮されるためには、行政や地域住民、民間事業者、NPO等の各主体が、相互に連携して取り組むことが必要です。

#### ○「住民参加」「来訪者との交流」

地域住民が日常的に自分たちのまちを知り、楽しむとともに来訪者とのつながりを盛んにすることで、地域本来の魅力を高めることができ、来訪者も魅力を実感することができます。そこで、各主体の取り組みに多くの地域住民が参加し、来訪者と気軽に交流できる環境づくりを進めることが必要です。

ビジョンの実現に向けた概念図



